

授業科目	保育所実習Ⅱ					実務家教員担当科目	－				
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	篠木 賢一／池田 佐輪子／笠 修彰										
授業概要	この実習では、「保育所実習Ⅰ」で体験的に学んだ、保育所での乳幼児の生活の様子、乳幼児の 発達についての理解、保育所の機能や保育士の役割などに基づいて、実際に保育に参加し、保育 士として必要な資質・能力・技能を学ぶことを目的とする。さらに、家庭や地域社会の生活実態 にふれ、子育て支援に対する理解や能力を養うことを目的とする。なお、実習園では実務家による指導を受ける。										
授業形態	対面授業				授業方法	保育所での実習					
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	1. 保育全般に参加し、習得した保育技術を実践に活かすことができる。 2. 乳幼児の個人差について理解し、子どもへの対応方法を実践できる。 3. 指導計画を立案し、それを実践できる。 4. 様々な保育ニーズについて理解し、保護者や地域社会との連携を説明できる。 5. 子どもの最善の利益への配慮を通して、保育士に求められる資質について説明できる。 6. 実習を通して自己の課題を明確に示すことができる。 達成すべき行動目標が実施できている。										
理想的 レベル	標準的なレベルに加え、貴重な現場体験を活かし、子ども観・保育観を深め、かつ実習園から保育士としての資質を認められる評価を得られる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物			50			0					
その他			50			実習施設からの評価表等					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	CH31605J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
1 日の実習を振り返り、実習日誌に記述する。										1	
授業計画											
第 1 回	1. 保育所での事前オリエンテーション 2. 保育所での実習 「保育所実習 1」の内容に加え、以下の項目について実習で学びと経験を深める A) 実習生としての態度として以下の内容に努める ・意欲・積極性をもった実習を行う ・責任感をもって実習に取り組む										

	・探求心をもって実習に取り組む ・他の保育士や職員と協調性をもって取り組む B) 実習生としての知識や技能を養うために以下の内容に努める ・保育所の役割および保育士の職務の理解に努める ・子どもの理解と援助を行う 3. 実習のまとめ、反省、今後の課題設定
テキスト	内閣府・文部科学省・厚生労働省,『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』,チャイルド本社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし
課題に対するフィードバックの方法	実習日誌や実習施設からの評価表等を用いて、実習事後面談を行います。
学生へのメッセージ・コメント	「保育所実習Ⅰ」の単位取得者であり、「保育実習指導Ⅱ」を履修し実習の実施要件を満たしている者各自で実習の目標が達成できるように、教材開発や教材研究等を積み重ねておくこと。